

超カンタン!! 売上を計算するだけ

[売上を把握するだけです]
毎月売上高を調べるだけ。
変動費は売上に変動比率を、
人件費・その他経費は、
経過月の平均を参考にします

月次変動損益 移表

21年12月期								6ヶ月経過 (単位:百万円)						過去実績 (月平均)		
合計	合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	当期	前期	前々期
売上高	89.1	16.1	15.9	15.9	12.6	13.1	15.4							14.8	15.2	16.6
変動費	74.6	13.5	13.7	13.0	10.3	11.6	12.6							12.4	12.1	13.3
粗利益	14.5	2.6	2.2	3.0	2.3	1.6	2.8							2.4	3.1	3.3
役員報酬	3.8	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6							0.6	0.6	0.8
其他人件費	5.3	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.8							0.9	0.8	0.8
人件費計	9.1	1.5	1.5	1.5	1.5	1.6	1.5							1.5	1.4	1.6
その他経費	8.9	1.8	1.4	1.4	1.5	1.3	1.5							1.5	1.4	1.4
消費	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1							0.1	0.1	0.1
経費計	9.4	1.9	1.5	1.5	1.6	1.3	1.6							1.6	1.5	1.5
固定費合計	18.5	3.5	3.0	3.0	3.1	2.9	3.1							3.1	2.9	3.1
営業利益	-4.0	-0.9	-0.8	-0.1	-0.8	-1.3	-0.2							-0.7	0.1	0.2
当期純利益	-1.9															
変動費/売上高	84%	84%	86%	81%	81%	88%	82%							84%	80%	80%

[過年度の月単位の実績]
前期、前々期の決算書の金額
を12で割って入力します。
実際に電卓で計算するのが、
ポイントです

[変動費]
会社によってどの費用を変動費
とするか、悩むところです。
一般的には、仕入、材料費、外
注費などです。

[変動費]
不思議なくらい、毎年の変動費
は変わりません。

[月平均額より多いときは?]
経費が月平均額より多いときは、
その月を強調表示します。
特に多いときは、厳密な試算表
でその内容を確認。
それほど多くなければあまり気
にしません。

変動費とは、仕入

人件費：役員報酬+給与+雑給+賞与+法定福利費+福利厚生費+通勤手当

経営安全率

経営安全率 = $\frac{\text{当期純利益} - 1.9}{\text{粗利益} 14.5} = -13\%$

1ヶ月あたりの売上高が $\frac{13}{1.9} \%$ 増加すると黒字になります。

New! 役員報酬も利益と考えて経営安全率を試算すると

経営安全率 = $\frac{\text{当期純利益} + \text{役員報酬} 2.0}{\text{粗利益} 14.5} = 14\%$

1ヶ月の売上高が 14% 減少すると
2.0百万円
@@ 役員の給与はありません @@

安全率とは、売上高が何% (いくら) 変動すると、黒字または赤字になるかの目安です。

提供：伊藤秀男税理士事務所

1日の目安

当社の営業日数は、20日 だから
1日の固定費は、15万円 掛かります。
(お店を開けたら毎日 15万円 掛かります)

[対策]
どうすれば黒字になるのか?
この会社の場合、売上高が、
13% (金額にすると190万円) 増加する
と黒字になります。

[1日の経費]
太陽が昇るとこの金額の経費がかかります。
月単位や年単位で言うより、1日単位で伝えると、とても身近に感じます。
小売業であれば、今日の売上が明確に分かるので便利です。
今日の売上高が確定しない建設業者の場合には、「今日はいくらぐらいの仕事(売上)をしましたか?」と現場管理者に聞くと、今日の儲けの目安になります。

[役員が報酬をもらえなくなる分岐点]
1ヶ月の売上高が14% (金額にして200万円) 減少すると、役員の給与が払えなくなります。
「役員の給与が払えなくなります。」と伝えると、役員の色が変わります。